

雪と寒さに打克つ安全・安心な道路整備による、岩手をリードする技術・文化の拠点都市花巻市の道づくり

計画の目標

明日の人材育成を育むための通学路整備による歩行者の安全性の向上と、冬期間の走行環境の改善による移動性の向上を図り、北上中部地方拠点都市地域における拠点都市づくりを支援するための道路整備を行う。

事業内容

- 舗装新設事業・舗装補修事業・現道拡幅事業・路肩改良事業・橋梁架替事業・橋梁補修事業・歩道整備事業・防雪柵整備事業・歩道融雪事業・融雪設備事業を行う。

計画の期間

・H22～H26の5年間

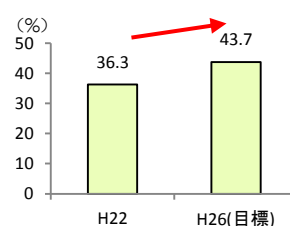
事業範囲

・花巻市全域

成果目標

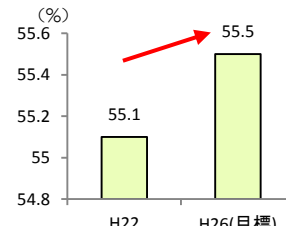
1. 通学路の整備率を43.7%まで増加

$$\frac{\text{歩道整備済延長}}{\text{通学路延長}} \times 100$$



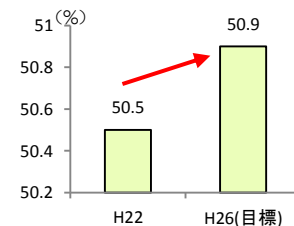
2. 市道の改良率を55.5%まで増加

$$\frac{\text{規格改良済延長}}{\text{市道実延長}} \times 100$$



3. 市道の舗装率を50.9%まで増加

$$\frac{\text{舗装済延長}}{\text{市道実延長}} \times 100$$



事業実績

- 158路線に対し、舗装新設事業・舗装補修事業・現道拡幅事業・路肩改良事業・橋梁架替事業・橋梁補修事業・歩道整備事業・防雪柵整備事業・歩道融雪事業・融雪設備事業を行った。

事業例

- 通学路整備を目標に実施した歩道整備事業（瀬畑口下根子線）

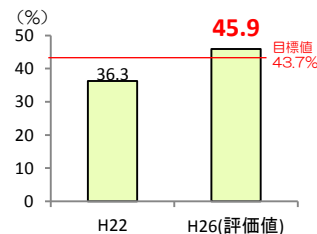


- より安全な歩行空間が確保された。
- 誘導ブロックが整備されたことにより、福祉の面からの安全性の向上にも繋がった。

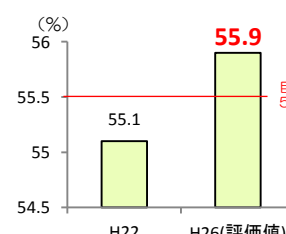
成果目標の達成状況

- 計画的に事業を実施した結果、整備延長が増加し、全ての指標を達成した。
- 指標の達成により、計画の目標である「歩行者の安全性の向上」と「冬期の移動性の向上」が達成された。

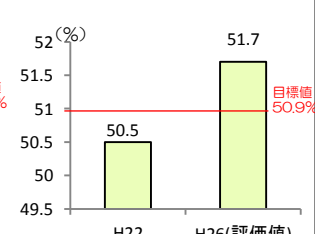
1. 通学路の整備率 **45.9%**



2. 市道の改良率 **55.9%**



3. 市道の舗装率 **51.7%**



今後の方針

- 引き続き事業を継続していくことで、更なる効果発現に寄与する。
- 事業の効果を計る指標について、ハード面の事業実施により算出された整備率だけでなく、間接的な効果発現状況を計るようなアウトカム指標を検討する。